

清西中だより

令和8年3月9日(月)
枚方市清西3-25-1
枚方市立清西中学校
校長 野口 明郎

学校教育自己診断結果

保護者及び生徒を対象とした学校教育自己診断アンケートを実施しましたところ、ご多用の中、ご回答にご協力いただきましてありがとうございました。

調査結果につきまして、保護者の皆様にご報告するとともに今後の学校運営に活かしていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

1. はじめに：本校の学校教育の方向性について

本校では、今年度の学校教育目標を「自ら学び、心豊かで健やかな生徒の育成(知・徳・体の育成)～子どもたちの主体性を大切にしながら未来につながる学びの実現～」と、そして、めざす子ども像を「夢や目標に向けて自分で考え、挑戦する子ども」「社会の一員として他者と協働し新たな価値を創造する子ども」「自分の良さや可能性を信じ、他者を尊重する子ども」とめざす姿を掲げています。

この「めざす姿」を追求する背景には、2026年現在の社会が直面している、より深刻かつ具体的な変化があります。最新の企業調査(2026年人材不足調査等)によれば、日本企業の8割以上が深刻な人材不足を実感しており、採用の基準は「量」から、「AIを使いこなし、付加価値を生み出せる質」へと劇的にシフトしています。かつての「言われたことを正確にこなす力」はAIによって代替が進み、今、社会が切実に求めているのは、「AIにはできない複雑な問題解決」や「対人コミュニケーションを通じた価値創造」ができる人材です。

また、2026年の雇用情勢においては、単なる知識労働ではなく、変化の激しい環境下でも自律的にスキルを更新し続ける「キャリア自律(自らの将来を自ら描き、学び続ける力)」が必須の条件となっています。インターネットやAIにより誰もが知識を手に行ける時代だからこそ、情報を鵜呑みにせず、その真偽を判断し、自らの意志で最適解を導き出す力が、かつてないほど重要視されているのです。

こうした社会からの要請は、以前より課題とされてきたPISAの結果(自律性の欠如)を、より深刻なものとして浮き彫りにしています。日本の子どもたちは高い学力を持ちながらも、「自分で

学ぶ自信」や「知識を社会とつなげる力」が弱点とされてきました。この「自律性の欠如」こそが、今の激動の社会において最も克服すべき壁となっています。社会とつなげることが使命とされる学校は、もはや従来の知識伝達に留まるのではなく、基礎的な知識の習得を基盤とした上で、自ら問いを立て、失敗を恐れずに挑戦し、「自らの手で未来を切り拓く自信」を育む場へと進化させていかなければなりません。

本校においても、教職員がこれまでの教育のあり方を転換し、正解のない時代に即した新たな学びを試行錯誤しながら実践しています。今回の調査結果を糧に、掲げた目標が形骸化することなく、一人ひとりの生徒が変化の激しい社会の中でも、自分らしく歩んでいける力を身につけられるよう、全力で教育活動に邁進してまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. アンケート結果から見る成果と課題(生徒アンケート)

※昨年度のアンケート結果も踏まえ、同一集団における肯定的回答の変化をまとめました(成果と感ずる回答)

	1年生	2年生		3年生		全体			
		R6	→ R7	R6	→ R7	R6	R7		
学校生活の中で、楽しさや やりがいを感じることもある。※	85.1		87.8		84.5		86%		
人の役に立つことは、大切だと思う。※	95.9		93.9		98.8		96%		
友達、先生や来校者に挨拶(あいさつ)をしている。	89.2	87.7%	UP	90.2	89.3%	UP	90.5	89%	90%
学校のきまりを守っている。	90.5	85.2%	UP	92.7	97.6%		96.4	93%	93%
先生は生徒の意見や考えを大切にしてくれる	89.2	82.7%	UP	96.3	77.1%	UP	88.1	84%	91%
命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	83.8	77.8%	UP	91.5	89.3%	UP	92.9	85%	90%
朝食は食べる。	89.2	88.9%	UP	96.3	89.2%	UP	90.5	76%	92%
授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されている。	91.9	92.6%	UP	93.9	86.9%	UP	92.9	90%	93%
授業の最後に学習活動を振り返る活動がよく行われている。	91.9	76.5%	UP	89.0	78.3%	UP	97.6	83%	93%

※昨年度と質問の表現が少し変わっているため、昨年度の数値は記載できません。

(課題と感ずる回答)

	1年生	2年生		3年生		全体			
		R6	→ R7	R6	→ R7	R6	R7		
自分には、良いところがあると思う。	64.9	63.0%	UP	68.3	79.3%	UP	83.3	72%	73%
学校生活をよりよくするために、話し合い、互いの良さを生かして、解決方法を決めている。	73.0		81.7		79.8		78%		
将来の夢や目標を持っている。	63.5		59.8		60.7		61%		
自分は責任ある社会の一員だと思う。	56.8		61.0		76.2		65%		
社会や学校は、自分たちで変えられる。	62.2		65.9		61.9		63%		
将来の進路や生き方について考えることがよくある。	59.5	65.4%	UP	67.1	78.6%	UP	83.3	76%	70%
あなたの学級は授業中、失敗しても笑われない。	51.4	66.7%	UP	75.6	76.2%		71.4	75%	67%
家庭では自ら課題を見つけて学習している。	51.4	56.8%	UP	64.6	54.2%	UP	70.2	55%	63%
家で自分で計画を立てて学習をしている。	52.7	51.9%	UP	56.1	47.6%	UP	61.9	49%	57%

成果・課題とも主なものを9項目ずつ選択しました。成果に挙げた項目については、おおむね肯定的な回答が9割を占めており、1年次よりも2年次、2年次よりも3年次と、学年が上がるにつ

れ、日々の積み上げが結果として現れています。

特に、「人の役に立つことは大切だと思う」については肯定的回答が 96%と非常に高く、本校生徒の「他者を思いやる豊かな心」が感じられます。

また、「先生は生徒の意見や考えを大切にしてくれる」「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されている」「学習活動を振り返る活動がよく行われている」の各項目は、昨年度までも非常に高い数値でしたが、2・3 年生ではさらなる上昇が見られました。特筆すべきは「先生は生徒の意見や考えを大切にしてくれる」の項目で、2・3 年生では昨年度を 10%以上も上回りました。これは、行事等で生徒の意見を取り入れる場面を増やしたことや、ルールメイキング委員会・ICT 推進委員会といった希望制の委員会活動を通して「学校生活を自ら見直す場」を設定してきたこと、そして枚方市の方針を踏まえた組織的な授業改善に臨んできた一定の成果だと捉えています。

課題については、肯定的な回答が相対的に低い項目を選択しました。本校の永続的な課題である『自己肯定感』については、昨年度より向上は見られるものの、依然として他項目より低い数値にあります。しかし、同一集団で比較すると肯定的な回答が学年を追うごとに増加する結果となりました。生徒一人ひとりの頑張りや良さを丁寧に伝えてきたことで、少しずつ自身の良さを認め、自信を持って挑戦できる子どもたちが育ってきている様子がうかがえます。

一方で、「将来の夢や目標を持っている」「自分は責任ある社会の一員だと思う」「社会や学校は自分たちで変えられる」等の項目は、今年度から加わった質問ということもあり、昨年度との比較ができませんが、他と比べて低い傾向にありました。主体性を育むためには、このような内発的な動機付けが不可欠な要素です。本校の学校教育目標の実現に向け、これらの数値を一つの指標とし、今後の教育活動をさらに工夫してまいります。

課題に挙げた項目の多くも、前年度の数値をわずかずつではありますが上回っています。今後も引き続き、生徒が主体的に学びに向かえる環境づくりに努めてまいります。

3. アンケート結果から見る成果と課題（保護者アンケート）

（成果と感ずる回答）

1.よく当てはまる 2.まあ当てはまる 3.あまり当てはまらない 4.当てはまらない 5.回答できない	1 年生	2 年生		3 年生		全体	
		R6	→ R7	R6	→ R7	R6	→ R7
学校は子どもに、これからの社会に必要な力を身につけさせている。※	92.6		85.7		76.0		84.9
子どもは、安心して学校生活を送っている。	92.6	56%	UP 90.5	75%	UP 80.0	69%	UP 87.7
子どもは、タブレット端末を有効に活用している。	92.6	53%	UP 71.4	57%	UP 84.0	58%	UP 83.6
子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	81.5	67%	UP 85.7	76%	68.0	75%	UP 78.1
学校は保護者の相談に応じてくれる。	92.6	73%	UP 85.7	76%	UP 80.0	80%	UP 86.3
学校では個人情報を守られている。	92.6	87%	85.7	88%	UP 96.0	90%	UP 91.8
学校諸費(教材費・積み立て金)の内容・金額は適切である。	100.0	93%	90.5	90%	UP 96.0	93%	UP 95.9
家庭では子どもの将来について話をすることが多い。	66.7	67%	UP 85.7	75%	UP 84.0	73%	UP 78.1

※昨年度と質問の表現が少し変わっているため、昨年度の数値は記載できません。

1.よく当てはまる 2.まあ当てはまる 3.あまり当てはまらない 4.当てはまらない 5.回答できない	1 年生	2 年生		3 年生		全体	
		R6	→ R7	R6	→ R7	R6	→ R7
先生はわかりやすい授業づくりに努力している。	96.3	73%	61.9	57%	UP 64.0	66%	UP 75.3
学校は、ブログ等の発信や保護者・地域の関わりを通して、開かれた学校づくりをしている。	74.1	64%	52.4	76%	UP 80.0	74%	69.9
先生は、授業の課題について、子どもがどのように学習するか選択できる場面を作っている。※	70.4		52.4		68.0		64.4
学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	77.8	60%	57.1	74%	72.0	71%	69.9
子どもは家で、自分で計画を立てて勉強している。	44.4	49%	UP 57.1	47%	UP 64.0	50%	UP 54.8
子どもは学校の図書館で本を借りて読んでいる。	7.4	16%	UP 19.0	25%	UP 28.0	21%	17.8
家庭ではスマートフォンやタブレットなどの使用について、ルールを決めている。※	66.7		66.7		64.0		65.8

※昨年度と質問の表現が少し変わっているため、昨年度の数値は記載できません。

成果と課題から、主なものを抜粋してご報告いたします。

まず、「子どもは安心して学校生活を送っている」という項目では、昨年度と比較して肯定的な回答が増加しました。子どもたちが安心して学びに迎える環境づくりが、着実に進んでいる様子がうかがえます。

また、「学校へ行くのを楽しみにしている」については、全体的な数値に大きな変化はなかったものの、2 年生において大幅な増加が見られました。これは、2 年生になり学校の中心として、様々な面で活躍する機会が増えたことが要因の一つと考えられます。今後も教育活動全体を通じ、子どもたちが前向きに、かつ安心して過ごせる取組を継続してまいります。

次に、「タブレット端末の有効活用」や「分かりやすい授業への努力」については、一定の成果とともに、保護者の皆さまからの期待の高さを改めて実感する結果となりました。「はじめに」でも触れました通り、今、子どもたちに求められる力は変化しています。その資質・能力をいかに授業で定着させるか。教職員一同で改めて問い直し、そのねらいを子どもたちや保護者の皆さまに分かりやすく伝えられるよう、さらなる授業改善に努めます。

一方で、「学校の教育方針の伝え方」については課題が残る結果となりました。このような書面での報告も含め、学校の考えを丁寧にお伝えするとともに、お子さまにどのような力が身についたのかを実感していただける機会を大切にまいります。保護者の皆さまと共に、お子さまの将来につながる力を育む「渚西中学校」を目指し、学校行事や授業参観、ブログ等を通じた情報発信を充実させ、全教育課程を通して生徒一人ひとりの資質・能力を育成できるよう尽力してまいります。

（参考資料）

枚方市：教育観の転換について



枚方市：GiGA スクひらかた 公開動画

題解決に向けて子どもが学び方を選択する授業(小倉小学校)

